京城日報

朝刊（朝夕刊合せて十頁）

本紙一部 … 定價 … 廣告料 …
發行兼編輯人 泥谷良次郎
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 振替京城三〇〇番

表（時刻表） [illegible]

學府の恐慌　京城日報

震火災の際に、貴重なる圖書、記錄の燒失せるもの多く、我國の學界は非常な損害を蒙つたことであるが、我政府も國民も、當面罹災者の救護や、災害の影響緩和、經濟的復興といふ焦眉緊急の諸問題に忙殺され、或は氣を奪はれ、遺憾ながら學界の蒙れる損害乃至其が將來に及ぼすべき影響等に關しては、總じて無關心の狀態に在る樣である。縱し又無關心でなくとも、既に灰燼に歸したものは、今更取返しはつかず、今後必要のものは新に蒐集する外はないので、燒失せる圖書の中には二度と得ることの出來ない珍本奇書といふ類のものもあつたであらうが、其等は謂はゞ學界の骨董品であつて、利用厚生の學問としては、必ずしも惜まれざる種類のものであるかも知れない。など考へて居る者もあるであらう。或は又、昔秦皇は、書を焚き儒を坑にしたが、然も民を愚にすることは出來ず、先聖の學は、立派に後世に依つて復興された位であるから、今回圖書は燒失しても、其貴重なる學者は、一二人者を除く外、幸ひに皆身命に別條なしと聞いて、我學界の前途は、憂ふるに及ばぬと爲す者もあるであらう。然し實際、我學府の恐慌は非常なものではないやうである。休學中の東京帝大の如きは、十一月一日から授業を開始するといふことであるが、教授達は、大事な講義の參考書、寧ろ種本とも謂ふべき書を大方燒かれて了つたので非常に困却して居るといふことである。其れは實に由々しき大事であるのである。政府は取急ぎ必要なる右の種本の購入を爲すべきである。

或は種本を失へる爲に起れる學府の恐慌を勝手要なしと爲す者もあるかも知れぬが、決して爾かく輕視すべきものではない。總じて學問は『蓄積』を本意とする、先人の研鑽の結果を惠まれて、深く其學ぶ處に造詣すべきものである、先人未發の境地に進むは、其上のことであり、又其人にもよるのである。殊に學問の府に於ては、學生をして造詣の端緒を得せしめ、更に其進程を指導するのであるから、先人の研鑽の結果にして、其が眞實であり、眞理であることを、正しく肯定されたるものに依つて、其基本的知識を與へねばならないのである。此に於て先人の體驗を以て記錄され描出されしとも謂ふべき圖書が必要であり、貴重であるのである。其必要物を喪失せる學府の恐慌は、固より無理ならぬことであつて、勝手要無しと云ふは、甚だ失當の言であるのである。然も見樣によつては學府の學者達が、恐慌を起す程のことでもないやうでもある。天は二物を與へずといふ諺があるが、天は總てを與ふことも爲ない。學者達は、從來準備された圖書に依つて得たる講義の資料を、教壇に立つ

黒潮に搖れて　松村生

てポケットに探る代りに、其纖落を頭腦から抽出すことにしても、寧ろ當り前に合ふ筈である。

七日午後五時韓崎は德山を拔錨した。韓崎は日露戰爭の當時砲艦の布告と同時に際どい所で分取つた艦だが、モウ老齡に達し速力も僅かに十浬。縮の樣な瀬戸內海の風光を樂しみにして居たのに、潮の關係で夜間內海航行は危險とあつて、低氣壓が外れたとは言ふもの、二百二十日を控へて居る此の怪しい空合を、何の遊戯もなくグン／＼豐後水道を南下して土佐沖に出ると言ふことになつた。土佐沖に出れば黒潮に乘る。さすれば一時間約一浬半の速力を增すといふことだ。一時間でも早く著けば、それだけ罹災民は助かるといふもの。瀬戸內海の島影など贅澤を言ふべき場合でない、これからさしかゝるは名だたる土佐灘、紀州灘、遠州灘、相模灘。低氣壓がうまくそれたから大したことは無いと松下艦長は言ふものゝ、其大海的動搖は陸の我等には大いに大したことであるのだ。七日の晩から九日の朝迄甲板にも食堂にも顏を見せなかつたのは豈余輩のみならんやだ。富士が見え、伊豆半島があらはれ、問題の伊豆七島が近くなつた頃は大いに元氣恢復した。

今度の大地震で大島が凹んで新島が飛出したなど傳へられたので望遠鏡でよく眺めたが異狀はなかつた。大島の元村の家々もさして破壞された樣でもなかつた、三原山の御神火は相變らず煙を吐いて居た。伊豆の海岸も噂ほどにやられて居ない樣に見えた。處が九日の夜東京灣に入れば樣子は段々おかしくなつて來たのである。其夜は房州灣の沖合に假泊した。雨の暗闇に鬼火こそなけれ何と言ふ恐ろしい靜けさであらう

死の色漂ふ品海

十日は朝から土砂降りである。東京灣の混濁一帶は雨の爲め低迷してよくは見えぬが擬く變つてる。先づプンと鼻をついたのは重油の臭氣だ。これは横須賀鎭守府の貯藏にかゝる幾萬噸の重油に火が移つて東京灣一面に浮流したのだ。誰かゞ第三艦隊がやられたといふ。指す方に建造物が傾斜し大破壞の跡が眞黑に果敢なく横はりて遭回の強震を細緻に物語つてゐる。彼の横須賀、横濱は今何處にありや、雲煙漠として認むる由もなき一混濛に還元して了つたではないか。艦の進むほどに海水が酷く混濁して恰も爛を液體にした樣な色になつた。材や戶板や下駄や家具等が一面に漂流して中には燃花が水に脹れた樣な死體がブワ／＼と流れて來る。墓場のあたり群鷗が爭うて飛ぶ。何！何と云ふ光景だ。本所、深川、京橋、日本橋、神田、下谷は言ふまでもなく赤坂、芝、本郷、小石川の一部迄も眼を遮る何物もない泥濘たる燒野原ではないか。月草より出でゝ草に入るといふ武藏野を如實に偲ばしむる此の荒涼の原、立昇る煙は生靈のそれに非ずして累々たる屍を燒くそれなのである。辛うじて殘つた品川の町々も滿足な形のは一つもない、傾ける、ひしやげたる、家根なき軒なき比々皆然りだ。

やがて艦は投錨する。右にも左にも、前にも後にも、避難民、食糧、建築材料の輸送に當れる第二艦隊や練習艦隊の艦艇が悲壯の姿に列び、艀やランチやカッターが忙しく右往左往する。日本海に、地中海に、國威を發揚せし我が精銳無雙の帝國海軍が今日此の國民的悲劇の後始末に努力しなければならぬと言ふことは恐らく何人か想像することが出來なかつたらう。見渡せば世界各國の同情を乘せ人道の名に於て馳せ參じた軍艦汽船の數も夥しい。此サプライムな國際道義の輝き！此一切を超越した人類愛の發露！木石に非ざるもの誰か感激の淚なからんやである。

芝浦の埠頭に上陸するや、死んだ筈の古橋出張所長が元氣よくヤアと叫ぶ。生て居つたか長生するぞ。おごれ／＼と言ふ諺もある。高きも、低きも、持てるも、持たざるも、美なるも、醜なるも、探つて燒いて雨に曝して生れた儘の裸一貫にして鄕國へ歸れと投げ出されたのである。芝浦の埠頭は斯うした悲慘な群れで込合つてゐたのであつた。銀座街頭の文化人の姿も心のさまも一樣に悽慘そのもので散々呪はれ詛られた彼の頹廢の色も果てたる其姿よ。總ての愛するものに別れ、持てる物を失ひ、今や其傷める心を抱いて人生の行路を何處に求めんとはする。想へば甘美の過去は實に儚なき夢であつた。秋雨蕭々として落髮短褐を持つ。二人も涙なき能はざるか。

屑屋の籠

家信（三）　隈汀生

其うちに私の案じて居た德ちやん（弟のこと）が命からくゝ日本橋から歸つて來ました。自分の靴を身代りに遺して、スリッパを穿いたまゝで。さうして途中で見たる悲慘な有樣を話しました。下町にては、既に幾手にも火の手が揚がつて、黒い煙りがむく／＼と昇り出し、段々こちらへ擴がつて來るとのことです。其うち、絹のやうな白い煙が、今まで見たことの無いやうな形で、段々近づいてまゐりました。芝區久保方面の猛火が、愈こちらへ延燒して來るのです。主人も留守になつて、漸く御用の隙を見て一寸歸つて來られました、すつかり疲れ切つて、一時は丸の內に火の手が擴がり、宮城も危なかつたさうですが、最早大丈夫といふことでした。

水が無くなる、食物がなくなる、といふので、近所の酒屋といふ酒屋、米屋といふ米屋、菓子屋、麵麭屋、お煎餅屋まで、開店以來の繁昌で、其日の中に何も角も品切れの有樣でした。子供達も怖ろしいのか默つて居ました。夕飯の代りにビスケットなどを食べました。少し落着いた人々は、路傍で御飯を焚て居られましたが、皆其の味など分りさうにも見えませんでした。

もうすつかり日も暮れたので、私は地面に布團を敷きました。惜いと云ふ氣は、ちつともありませんでした。子供は無心に眠り出しましたが、火はます／＼近づき、もう何時間の後には、吾家も丸燒と愈々覺悟を定めました。さうして地震の間を見て家に入り、亡き母上より、おばあ樣が大切にしていらしたと、かね／＼承たまつて居ました觀音樣の御像を出し、天皇皇后兩陛下の御眞影をはづし、各國の勳章、重要なる書類などと共に、鞄に入れました。母上の大きな御寫眞や、先祖代々の御位牌などは、迚も持ち出すことが出來ませんから、西洋室のテーブルの上に泣く／＼お詫を言ひながら置き去りました、さうして家を飛び出しました。迚もゆる／＼などしては居られませんから。外に出ますと、松が『奥樣、兎に角、も少し着物を出さなくては、家が燒けたら如何なさいます』と申しました。私は『もう燒けるものは仕方がない。また家に入つて揺り返しでも來るといけない』と申しても『では私が出して參ります』と言つて、外出の着物だの、貴金屬類を出して呉れました。

一番困りましたのは永の牛乳の無いことで、ミルクを飲ませたいにも水道は破れ、瓦斯は止まり、どうにも仕樣がありません。そこで今までしまひ込んであつた七厘に炭を起し、桶の中にあつた一杯の水を命の種に、泣く／＼往來にて大切に湯を沸かして飲ませました。それも牛乳の瓶を家に取りに入らうと思ふと、グラ／＼と揺り返すのに慌てゝ飛び返り、なかなか一通りの事ではありませんでした。

種の話

◇丸髷は支那から傳來した。倫敦に於て發行する世界風俗研究雜誌に依れば、日本の既婚婦人の頭に載せ居る丸髷は實に不思議な型をしてゐて諸外人の眼には頗る奇異の感を懷かしめるのであるが、此れ元日本に於て創めて考案されしものでなくて今よりズット古い頃に似た型が支那より傳來したものを多少變化せしめて今日の丸髷の型としたものである。支那本國に於ては此の型は今日四川省の山奥かチベット邊に行かねば見ることではきない。

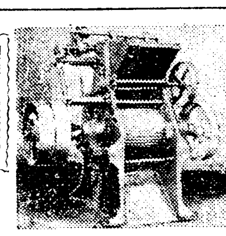
主幹高橋貢治　月刊 養鷄之日本　十月號
一部貳拾六錢　半ケ年一圓四拾錢　一ケ年二圓七拾錢（送料共）
內容見本無代進呈　名古屋市西區瑞穗町　振替名古屋一八三九番　養鷄之日本社

◎震災謝御見舞◎
今回帝都の大震災に當店舖も類燒致候處幸に家族一同無事左記へ立退臨時假事務所相定候に付て從前通り何品にても御注文に應ずべく候間何卒倍舊の御引立に預り度右御禮旁々此段御願申上候
東京府寺島町二五九（假事務所）漂井線物工場內（光輝足袋本舖）川口榮治郎

轉任用、婚儀用、非常用として灼熱的好評!!!
◎文化生活の必需品
◎轉任用!!
◎婚儀用!!
ズック製夜具入
五枚入（敷布團三枚掛布團二枚）定價五円廿五錢 七円十円
型錄御一報次第郵送　送料一個ニ付九拾錢
製造元 廣島市大手町 マルヤ製鞄店　電話二六九　振替大阪四九八五二番

朝鮮副業品共進會長審査官　各種團體長專門技術官實業家　題字序文
朝鮮農會常務理事　農學士足立丈次郎編纂
朝鮮副業品共進會總覽　金壹冊
（朝鮮副業指針）クロース四六判七百餘頁
○副業の種類、方法、趨勢を知ることを得る副業辭書とも稱すべき一大著
○寫眞百數十葉、行文平易○內容充實、趣味と實益を兼ね一見副業の…
一、發行期限　大正十二年十一月末日
一、豫約申込期限　大正十二年十月三十日
一、豫約特價　金參圓、定價金五圓
豫約申込所　京城旭町一ノ六五 東光社　同本町二 大阪屋號書房　景福宮共進會場內戶田農具特設館　同 日韓書房

振古未曾有の國難に直面し不景氣なし　必ず出來る　○素人で　○市場に
舉國一致勤儉貯蓄の美風を發揮し進で國家富強の最善なる經濟法を公開す
絕對保證　實附任意　貳百圓の資が僅かに六回の運轉で　壹萬三千圓となる
秘訣　秘策　貯蓄　債券　特授
大阪阪神線千舟　プライス社　支社 東京 名古屋

籾摺法の改革！
專賣特許　神八式脫稃機の出現　―スラズにムゲル―

刑錄申越次第進呈
本機は東拓釜山支店に於て三ヶ年間の實驗に仍り完便有益なる旨の證明を受け釜山鎭同社籾摺工場に於ては現に本機使用中にして好成績を揚げつゝあり
製造元 煤鐵公司 南滿洲本溪湖
發賣元 神八商會 南滿洲本溪湖
附屬品販賣部 神八支店 釜山驛前
朝鮮一手特約店 京城南大門通 戶田農具株式會社

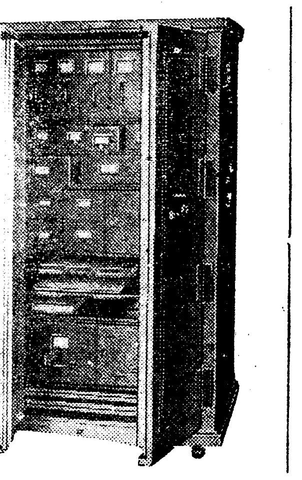
天保小判金 … 文政小判金 … 萬延小判金 …
◎古金銀寶買商　岡■商店　電話 …

各種獵銃及獵具類

（カタログ送呈）
鷄林商事株式會社銃砲部
平壤大和町七番地　電話一八番

涼しき秋の運動シーズン
◇廉價と丈夫で好評の
●庭球上衣とパンツ　自一、三〇 至二、五〇
●野球用ユニホーム　自一、七〇 至二、八〇
●オーバーセーター　自五、五〇 至二〇、〇〇
その他凡ゆる運動具
ラケツト、グローブ、フットボール、運動靴、ピンポン
圓盤、槍、スケート
其他オリンピック用具
全部取揃へて居ります。
●御申越次第カタログ呈上
京城本町 大阪屋號運動具部　市內は電話本局二〇八、六八四番

急告
今般當社の業務執行所を左記に設け候に付き當社株主各位は乍御手數現御住所を至急同所宛御通知被下度候
御住所に變更なき場合にても矢張り御住所を御通知被下度願上候
大正十二年九月廿七日神戶市に於て
神戶市明石町三十二番地（明海ビルディング）
株式會社 山金鑛 社長 ジエー、アール、ゲアリー
株主各位


東京及横濱に於ける這般の震災に續く大火災の苦がき經驗を嘗めたる今日我が『セーフキヤビネット』（安全寶庫）が如何に優秀なる耐火力を有し其の價値を發揮したるかは他品の企及を許さゝる所にして否定し能はざる事實となりたり而して『セーフキヤビネット』（安全寶庫）の一大特徵は華氏千八百度乃至二千百度の猛火中に二時間以上灼熱して漸く灼熱せしめたる後直ちに三丈以上の高所より投下しるものにして斯く其の內部が華氏の三百度（書類危險點）に達するも以て其の體型には微塵だも與へざる程度の耐破力と耐熱力を有するにあり依て關東震災地の銀行會社は勿論各官省に於ても競ふて本金庫の購求に接し社員は其の應答に忙殺の有樣なり以て本金庫の他品に卓絕せるを立證せるに餘りあり
弊社は火災盜難等に對する保護器寶庫は勿論金庫室及倉庫用鐵扉其他鋼鐵製の書類保管器等を輸入致しまして此道には多年の經驗がありますから電話か葉書で左記の店へ御一報下さいますれば直に社員を差上げまして適當の御設備に付き御相談相手となります併し御相談になつても是非物品を御買ひにならねばならぬと云ふ義務は絕對にありませんから御遠慮なく御問合せ下さい
米國セーフ、カビネット（寶庫）會社
京城南大門通二丁目一番地
アンドリユースエンドジヨーヂコンパニー 支店寶庫部
本店 東京市京橋區竹川町十六番地
支店 倫敦、紐育、大連、大阪、福岡

老若男女を問はず日本國民たるもの必讀すべき不朽の大記錄

大正大震災大火災

題字と序文
（題字）震災善後會副會長子爵 澁澤榮一閣下　（序文）文學博士 三上參次先生
（題字）內務大臣子爵 後藤新平閣下　（序文）文學博士 幸田露伴先生
（題字）前戒嚴司令官陸軍大將 福田雅太郎閣下　（序文）文學博士 三宅雪嶺先生
（序文）理學博士 今村明恒先生　（裝幀）横山大觀畫伯
尚戒嚴司令部・參謀本部・各新聞社・全國各名士等本書發行に際し非常な援助を賜りたり。

大日本雄辯會講談社編

（本書內容の一部を掲載す！外尚百餘篇）
◎淒絕慘絕！不安漲る帝都大震災記……
◎阿鼻叫喚！宛然ら焦熱地獄！帝都大火災記……
◎全滅せる小田原・横須賀・横濱實見記！……
◎鬼神も面を掩ふ悲話哀話―二十余篇―
◎慘又慘！死屍累々たる被服廠・吉原燒跡實見記
◎感嘆すべき人情美の發露―美談佳話二十余篇―
◎秋風咽び秋雨哭する死灰の都をめぐりて……
◎淒慘を極めた河上海上の大悲劇……
◎噫！かくして三殿下は神去り終ひしか……
◎忝さに淚こぼるゝ秩父宮の御仁慈……
◎噓のやうな事實！震災異聞奇話―五十八篇―
◎目覺しき各種機關の活動 自警團救護團青年會其他
◎經濟界の大打擊とその將來……
◎世界各國の同情と在留邦人の憂慮……
◎通信交通その他諸機關の慘害と應急始末……
◎失つた名所名物の追懷と珍寶に絡はる物語……
◎訛傳・誤報・流言・蜚語・地方のさわぎ……
◎地震の話 興味ある地震講話と注意 理學博士 今村明恒
◎地震火事に關する傳說いろ／＼……藤澤衞彥
◎國民として―聽け全國民への大警告― 子爵 澁澤榮一
◎戒嚴下に於ける國民と軍隊 將來の覺悟・陸軍大將 福田雅太郎
◎震死者を吊ふ……大町桂月
◎罹災者に贈る言葉……文學博士 幸田露伴

あゝ是を讀みて泣かざるは鬼か？否！鬼も泣くべし。あゝ此の悲話あゝ此の慘話！記憶せよ大正十二年九月一日。讀んで以て鑑戒とし、備へて以て永く子々孫々に傳へよ。

震災火災 寫眞百三十葉 ―何れも本書でなければ見られぬ優秀品ばかり、印刷鮮明にして宛然立派な寫眞帖の如、慘憺たる帝都の狀は一見肺腑を抉るものあり
◎前注文殺到・十月一日發賣
即刻御近近書店又は直接本社へ豫約申込を乞ふ。
菊判數百頁 美麗印刷裝幀 定價壹圓五十錢（送料六錢）
發行所 東京本郷區坂下町 大日本雄辯會講談社（振替東京三九三〇）

商業登記公告
●商號廢止
右ハ大正拾貳年九月拾日…得淳ガ使用セル商號鷄林洋行ノ廢止
右大正拾貳年拾月五日登記
平壤地方法院

商業登記公告
●株式會社設立
商號 井邑電氣株式會社　本店 全羅北道井邑郡井邑面水城里百九拾番地　目的 電氣供給電氣器具ノ販賣及之ニ附帶スル業務　設立ノ年月日 大正拾貳年九月拾日　資本ノ總額 金五拾萬圓　一株ノ金額 金五拾圓　各株ニ付拂込ミタル株金額 金拾貳圓五拾錢　公告ヲ爲ス方法 所轄法院ノ公告スル新聞紙ニ揭載ス　取締役ノ氏名住所 …
右大正拾貳年拾月參日登記
光州地方法院井邑支廳

秋季 毛糸編物講習開始
開期 十月十日より（每日曜日休）
講師 上山氏外貳名
會費 壹ケ月貳圓也（壹週二回）
會場 尾琴屋糸店內
申込所 京城本町二丁目明治町入口 合資會社 尾琴屋 電話 …二三五九番

籾摺作業ノ革命
專賣特許 岩田式籾剝機
全國優良農具展覽會 金牌受領
朝鮮一手販賣 大東社商業部 京城府…二ノ一七 電話本局七…

伯林議會開かる

【伯林七日電報】伯林市中は今や靜穩となり帝國議會は八日開會される

獨逸新內閣觀

數週間內に失脚するとの說

【伯林電報】ストレーゼマン氏の新內閣は愈組織されたが事實上舊內閣と同一である尤も氏の內閣の繼續は執政官制度を實施せんとして失敗した國民主義者が今の處敗北したことを意味するのである、但ストレーゼマン氏は數週間內に失脚するであらうといはれてゐる

支那後繼內閣

吳景濂氏說傳はる

【北京電報】後繼內閣として吳景濂氏說が傳へられてゐる

曹總統の政綱要領

【北京六日發電】曹大總統の政綱要領左の如し
一、教育は立國の基礎故之を盛んにすべし
一、和平統一を促進すべし
一、財政を整理すべし
一、軍事費を節約すべし
一、裁兵を斷行し協調主義を採り穩健なる外交を行ふ可し

唐氏邸で重要會議

【上海七日發電】曹錕氏の大總統當選に對し唐紹儀氏邸で重要會議を開き新に來た張作霖氏の代表も列席したことは尠からず一般に注目されてゐる

東支鐵道沿線に在勤する
露人警官廢止計畫

十一月末に一千二百名馘首

【哈爾賓電報】東三省支那官憲は東支沿線に勤務して居る露國人警察官吏が徒に支那側の政策を妨害した事實あるに鑑み來る十一月末日を期として現在の露國人勤務者一千二百名を馘首し支那巡警をして之に代らしむべく警察管理所長をして其調査に着手せしめたが以上の露國人警官は主として舊白軍の出身の將校を採用しゐた關係上今日迄は沿線露國人の保護、赤派官憲取締も都合容易に行はれて來たに反し今後は支那人巡警が之に代る事となれば曖昧な沿線露國人の痛苦は勿論赤派の行動も容易となつて地方の治安に及ぼす影響も尠からぬものがあらうと云ふ、因に支那側の計畫に依れば沿線の警察區域は之を五區に分け哈爾賓全部を第一區哈爾賓長春間を第二區哈爾賓ボクラニチヤナ間を第三區ハルビン免渡河間を第四區とし滿洲里海拉爾間を第五區とするものである。

英帝國會議で決議した
日本震災弔慰文

英大使より外相に移牒

【東京電報】本邦駐箚英國代理大使は本國政府の訓令に依り英帝國會議が其第一回の會合に於て可決した日本震災に對する同情弔慰の決議文を帝國外務大臣に移牒し來れり
英本國首相英帝國各自治領首相及印度代表者は帝國會議の開會に際して永年の交誼深き盟邦日本に向つて其被りたる慘害に對して深厚なる同情を表す日本國民は此の災害に處して完美したる愛國心及不撓の精神に對して讚歎の辭を呈し又日本國民の勇氣剛毅然たる必ずや今次の打擊に屈する事なく速かに恢復し進んで世界の經濟的繁榮的進運に對する重責を遂行すべしとの堅き決意を表明せん事を欲す

普選提案疑問

【大阪電報】政府は普選問題に就き臨時議會を繼續せしめる事に決定した事は既報の通りであるが之を政府案として議會に提出するに至るまでには尙幾多の協議を重ねるべき事は勿論で又假に政府案が決定したとしても斯る重要法案は議會提出前に樞府に御諮詢あるべきもので其際樞府の審議の順調に進むとしても此後數ケ月を要する事となるべく勞々今期通常議會に提出されるかどうか頗る疑問である政策として普選の成立を必要とする場合は自然臨時議會の開會を見る事となるだらうと觀測されて居る

鐵道異動

中川氏は次官

【東京電報】鐵道省では中川運輸局長が次官に榮轉し和田監督局長辭任につき取敢ず伊藤經理課長を監督局長事務取扱ひに稻田旅客課長を運輸局長事務取扱ひに任命したが今回愈々東京鐵道局長村井二郎氏を運輸局長に監督官久留島氏を[illegible]方鐵道局長に中山隆吉氏を配車課長に榮轉せしむる事に決定し尙東京局長に名古屋局長[illegible]富正男氏を[illegible]福富氏の後任に補すべく內定してゐるが近日中決定の上發表を見る筈

嫉妬が生むだ悲劇

[illegible]

閣議（八日）

【東京電報】八日の閣議は午前十時首相官邸で開催後內相より復興院の計畫に就き又伊集院外相より支那に於ける曹錕氏大總統就任の經過及び此後の對支方針等に關し報告があり二、三事項を決定正午散會した

滿蒙政策

近く發表する

【東京電報】我が滿蒙政策は兎角非難を受けてゐたが現內閣は此點を深く遺憾とし對支政策興振と相俟つて近く滿蒙政策を確立して發表する筈であると

國民教育の復舊先決

教育復興費一千百五十萬圓

＝文部當局者談＝

【東京電報】震災の爲め蒙つた教育上の損害は多大なるものがある當局にては殆ど不眠不休の努力にて復舊に鋭意し東京帝大を始め各種の高等教育は略開校の見込が立つたが普通教育の復舊に至つては未だ着手されてゐない、之れを國家的見地から云ふならば國民教育の復舊が先決問題で高等教育は寧ろ其後に從ふべきものである尙當局にては東京、神奈川兩府縣下の罹災學校の應急的復舊費を支出しなければならぬが補助金額等は未だ決定しないが當局としては小學校に對しては復舊費の全額を中等學校に對しては復舊費を支給し度き考へである此標準に依れば應急復舊費總額一千百五十萬圓に達する見込みである

不正貯金申告

嚴重に處罰する

【東京電報】今回の震災に依り遞信省保管の貯金原簿は大半は全く燒失し僅に一萬二千の通帳原簿及少數の記入カードが殘つてゐるのみであるので政府は之れが善後策として之に關する勅令を公布し通帳を紛失したものは申告の方法に依つて貯金の請求を爲し貯金局は調査の上支拂ふを原則とするも若し貯金局にして萬一不正申告を爲し發覺した時は一年以下の懲役に處し又詐欺の方法に依りたる時は刑法典の詐欺取財の規定を適用して嚴重なる制裁を加するとのことである

海軍航空隊

霞ケ浦へ移る

【橫須賀電報】橫須賀の海軍航空隊は十一月中に霞ケ浦に移轉する由

營林廠製材進捗

【京城電話】總督府營林廠製材所にては九月十一日以降徹夜作業を開始し晝間七百尺締夜間三百尺締計一千尺締を製材しつゝあるが右は八月中旬に於ける水害に因り製材作業休止の已むなきに至りたるを以て之が補塡と一面に於ては平安南北兩道水害地に仕向くべき復舊家屋建築材約一萬二千尺締及關東震災民用材約一萬尺締の製材に著手せしむる爲にして從業員百十餘名を增加し即ち現在平均四百七十人にて鋭意製材に努めつゝあるが前記水害地救災用材は既に六割餘關東震災地仕向用材は全部の製材を終つた而して大口取引者に對しても亦順次引渡しを爲しつゝありと

宇垣中將

＝その略歷＝

既報五日の閣議で陸軍次官たるべく決定した教育總監部本部長陸軍中將宇垣一成氏は明治元年岡山縣に生れ、同二十六年歩兵少尉に任官、大正八年陸軍中將に陞任、其間陸軍大學卒業、參謀本部出仕、同部員、獨大使館附武官、近衞師團參謀、歩兵第六聯隊長、參謀本部第一部長等歷補、嚴に浦鹽、露領オデスサ、及支那に差遣されたこともあつたが往年議會に於て二個師團增設問題の起りし當時、氏は參謀本部軍事課長の椅子に居り軍務局長たりし現陸相田中大將に次いでの大立物と目されたことは隱れもない軍部內に於いても今猶記憶に新しい氏の次官說は田中陸相就任以來當然の結果として見られて居つただけに愈次官就任後は殆ど氏によつて陸軍省を切廻さるゝと同時に帝國軍事方面に多くの變つた施設を見る事であらうと觀測する向もあるまた宇垣中將の後任たる教育總監部本部長としては適當の人材はあらしいが誰を動かする椅子が少く或は菅野第二十師團長が適任だとの下馬評もある

救護事務局打合

【東京電報】八日午前九時內相官邸で救護事務局幹部の打合せ會を開き內相より一場の挨拶あり各局長より主管事務の經過に就き報告し內相及岡本次官から二三指示事項を與へ正午散會した

帝大移轉希望

【東京電報】帝大教授會は七日協議の結果代々木に移轉を希望する決議をなした。

朝鮮青豌豆栽培有望（下）

澤村鈴木商店支配人談

玆に於て私は平素朝鮮が輸出品に乏しく米を除きては僅に大豆を輸するのみ此すら近來滿洲大豆に輾もすれば壓倒せられ今回の關稅撤廢に由り一層其打擊を受けつゝある狀勢で國際的商品として海外の市場に輸出し得らるゝものは僅に生絲が孤影悄然と控へて居る位殆ど皆無と云つてもよい位であるから豌豆の栽培と輸出を計つて朝鮮の富を增すことを推獎したいと思ふ

副產品として

是非此豌豆も從來北鮮に幾何等か出來るのであるが數量も至つて尠く品質も不良であるが北海道產に匹敵する丈の優良品でないから未だ輸出品として取扱ひ得る程の價値に達して居らぬのは遺憾である朝鮮としては折角心をして青豌豆が出來たが一向に外國が買つて呉れぬ惜しも出島の白豆即ち小手亡が戰後歐洲に輸出が殆ど閉塞した如くに再び同じ歷史を繰返しはしまいかとの懸念をせらるゝ向が有るかも知れぬ、其所は揚頭の英國海軍大臣の說明と戰前戰後に於ける實際の貿易統計に依りて安心して可なりである

元來白豆が戰時中に澤山海外に輸出てのは寧ろ變則の事で其需要先は歐洲でなく歐洲へ出征中の米國兵の戰場の食料として豚肉とトマトを混じて罐詰に製造し之をポーク、エンド、ビーンスと名づけて使用したので全くヤンキー先生のみの御用達品で在國人は此種の豆は全く使はなかつたものである夫故米國カルホルニヤの農民達が安い東洋產がドシドシ戰後に米國へ輸入せられては自分達が競爭も堪えないから到々問題を起して百封度二弗と云ふ輸入禁止的の重稅を賦課する事に成功した其以來米國への輸入は殆ど杜絕の姿で今日白豆は內地で菓子の餡に使はれる位に留まる事になつたので我輸出農產物を栽培するに付いて注意を要する事は

（一）輸出の販路は米國でなく歐洲に求める事
（二）外國に於ける同樣競爭品の供給狀態を研究する事
（三）勞銀の安い且つ殆んど無盡藏に大日本生產の可能なる滿洲及中部支那に生產せられざる品種を撰擇して競爭圈外に立つ事である

同じ豌豆でも白豌豆は支那の揚子江流域や印度に相當生產せられて値段も安いから此等のものを栽培するは不利益なる事申すまでもない今參考の爲めに北海道に於ける青豌豆の既往の相場を擧ぐれば

	最高（圓）	最低
大正元年	一五、八〇	九、九〇
二年	四、九〇	三、五五
三年	七、〇〇	三、五
四年	一一、四〇	六、四一
五年	一九、九〇	一二、〇〇
六年	二二、六〇	九、一八
七年	一五、五三	一〇、五五
八年	一七、六二	二〇、〇〇
九年	一二、九七	五、四八
十年	一三、七七	五、七四

以上相場の騰落は著しいけれども畑地一反歩に平均一石の收穫あるものとすれば百斤八圓として二十圓の收入は擧がる譯である其他の事に係る詳細の事は此途の專門家に讓り玆では單に我々貿易業者の立場から青豌豆の輸出農產物としての經濟的價値を高調すれば足りる朝鮮の現在の人口と消費の狀態より鑑み大部分生產に適當なるものは矢張り移輸出品に待たなければならぬされば更に移出品より一歩を進めて輸出品の有望なるものを選擇して之を大に督勵し國際的商品を作り海外より直接資金を吸收し鮮內產業の發展を計り經濟問題に資する事は最も機宜の方法と思ふ

因に輸出農產物として朝鮮氣候風土より見て適當と思惟せらるゝ商品の內地より海外に輸出統計を參考に示せば左の如し

▲青豌豆	大正七年	二三、八一九、〇〇〇
	八年	一〇、八七〇、〇〇〇
	九年	二、四八八、〇〇〇
	十年	四、四三四、〇〇〇
▲[illegible]荷	大正七年	一、八〇四、〇〇〇
	八年	二、七七五、〇〇〇
	九年	五、七九九、〇〇〇
	十年	三、五三〇、〇〇〇
▲除虫菊	大正七年	九八四、〇〇〇
	八年	三、七三七、〇〇〇
	九年	二、五五五、三〇〇
	十年	三、三五七、〇〇〇
▲鶉元豆	大正七年	三〇、一九四、〇〇〇
	八年	一八、六七三、〇〇〇
	九年	五、二八七、〇〇〇
	十年	二、七三〇、〇〇〇

拓殖經濟調査會の改廢は已むを得ぬ

後日復興せしめても遲くはない

政府は前內閣で設置した臨時拓殖經濟調査會を改廢する意嚮に決定した模樣であるとの東京電報は既報の通りであるが右に對し當局者の語る所によれば、其點に就ては未だ何等の通牒もないので事實は如何とも不明であるが此調査會は實際に於て必要なものであつたかも知れない。然し乍ら何樣今回の大震災は政治に經濟に教育に其他總てに於て其中心地たる東京が大損害を被つたのであつてこれはひとり東都のみの損失でなく實に帝國の大損失である。從つてこれが復興の早遲如何は總ての點に於て帝國の消長如何に關係するとも云へるのである。斯かる際であるから先づ帝國の基礎を確立すると云ふ事が現在としては何よりの先決問題であらう。して見れば若し政府がこの調査會を中止したとすれば斯かる東都復興と云ふ意味から出たものであらうと思ふがもしそうした意味のものであるとすれば何とも中止は已むを得ざる所であらう。而して先決問題たる復興が終るかさもなくば其方法が樹立して後、更に此調査會を復活させても決して遲くはあるまいと信じて居るのである。此調査會が一時改廢と云ふ形式になる事は已むを得ない所ではないかと思ふ云々

全國商議大會

來月上旬開催

關東大震災善後策其他の問題につき來る十一月一日より三日迄名古屋商業會議所に於て全國商業會議所聯合會を開催する事に京阪名三會議所頭取にて決したる旨京城會議所宛通報があつた

鹽輸移入狀況

青島鹽輸入困難

輸入　本年四月以降青島鹽の輸入困難となりたる爲め仁川鹽商會にては支那政府に對し極力運動を試み本年鮮內產鹽額不足に鑑み調節に資するところあらんとした結果漸く朝鮮への輸入を見るに至り客月十七日及本月二日の兩回に亘り平安丸に依り頭數千噸宛を輸入し今後も引續き輸入の計畫なるも何分右輸入に際し百斤に付四圓五十錢（噸當り七十五圓餘）の保證金を正金にて供託するに非ざれば許可を與へざるより之が苦痛甚大にして寧ろ『昨』と云ふべく斯くては遂に輸入不能と同然の結果に陷り此の分では全鮮で約三萬噸の輸入は到底覺束なしとて目下善後策考究中なりと

移入　過般西鮮地方大洪水に災され廣梁灣の鹽田流失をはじめ其他鹽田殆ど潰滅せりなど誇大に報道されたる傾きあり依つて將來の需給上不安を抱くこと尠からざる折柄專賣局では一般鹽價一圓五錢より一圓四十錢に値上されたる爲市場は思惑的に鹽價が上にも昂められ遂に一圓五十錢と云ふ突飛な相場を示現するに至つた黑人筋の觀察によれば來春三月頃とならば更に角秋相場に於て斯かる相場は極めて不自然であると語つて居る斯の如く鹽價が高騰したので從來不採算であつた臺灣鹽が稍引合ふ樣になり今回釜山に本店を有し仁川に出張所を新設した許要商店に於ては新に臺灣總督府の特許を得て臺灣鹽を釜山へ本月六七日中に第一回三〇〇噸を仁川へ十日頃、二〇〇噸を夫々移入することになつたそうである今後も引續き移入するや否やは移入後の一般嗜好如何の結果により決定する問題で茲に豫斷することは出來ぬと尙釜山へは十年許り前に移入したことがあるが仁川としては新規移入に屬する譯で原價百斤に付七十二三錢に至る迄の總費用三十錢運賃三十三錢陸上費六錢合計一圓四十錢餘となり之れに店員派出等の諸費を見積り釜山と協定して多分一圓五十錢で賣出すことにならうと而して品質は殆ど再製鹽の代用に匹敵する良質なれば目下再製鹽百斤二圓四十錢に比し割安であるから或は好成績を示すかも知れぬと

共進會のぞ記

◇共進會の氣分は日一日と濃厚になつて行き、町の戶締には飾り提灯がぶら下げられて人の心を唆り立てる、入場料二十錢を拂ふて入口を入つて右手に古化粧した光化門を縫つて右手に曲ると櫛を繞らした一廓への廣い地がある、此處は羊の牧場であるが未だ羊は入れてない十日迄には外の物と一緒に入れる手筈になつてるさうだ。其お隣に立つてゐるのが第二參考館である此處には副業參考品が陳列してあつて、實地作業も見せると云ふので可なり人氣を呼んでゐる。

◇這入つて見ると中央試驗所や其外の織物の作業が行はれてゐる、綾子と甘紗とを織るものである、機に鮮やかなるものである、だが實際に是に役立つのは朝鮮の織出の作業である、全部竹で造つた枠な鶏籠風の小亭や是に續合して一隅に植られた竹林の一群やその間の作業を見ると巧妙なる竹細工が見られて行く。竹細工は可なり人目を惹いてゐる、竹細工の年產額は四百萬圓を超えてゐると云ふ、副業參考品としては最も適當なものに思はれた、

◇次には何と言つても矢張り織物や、絹織物と言つたやうなものが一番に多い、出品點數一萬二千點と云ふのだから中々一寸見きれない。然し全鮮から選出された是等の副業的な產品を一堂の中に集めて一目に見渡して見ると流石に朝鮮の有らゆる特產物が現はれて實に頼もしく感じたやうな氣持がせずには居られない、蛇の皮を鞣し上げて美事に作つた洋杖の傍に立寄つた令孃風の女が、蛇のやうな肌を擧かしてその洋杖を撫ると見入つた瞬間にハッと氣附くと仰山な悲鳴を揚げて飛退いたので附近の人がどつと大笑ひ、令孃の顏は紅色から赤色に變つて行つたのが滑稽であつた

◇次の建物が第一參考館であるが此處には內地滿洲邊からの參考出品が可なり多いやうだ、第二參考館に比べるとずつと品數が多く、少くても五千點位はありさうに見えた、現在或は將來に於て副業的製產品として見込のあるものと言ふのださうだが、素人の記者にはそんな物の價値の高下は分らない、唯出品人の苦心と、製產者の努力の跡は充分に之を窺ひ知る事が出來た、

◇今度の共進會を見た人が『どうも大した物品はありませんね』と言ふのを聽いたが是は普通の博覽會とは違うんだから、退屈を紛かすやうな高價なものや、或は華美なものを見出す事の出來ないのは不思議ではない、共進會の目的は副業獎勵にあるのだから、是丈の產品が陳列されたのは成功と言はねばならぬ、

◇陳列館の裏手に出ると自營特設館から各種の飲食店が軒を並べて客を呼んでゐる、成程淺草か千日前あたりにでも行つたやうな氣分がして、鳥渡腰かけて見たい氣になる、本館の前廣場には美しい芝生があり、一郭を限つて秋草が咲誇つてゐる、其處に建られた圓形の建物は休憩所である、ベンチに腰をかけて一息入れてゐると紅葉の青い色濃々の衣の彩が本館から參考館の方へ間斷なしに流れて行くのが眼に映る、矢張り盛んな人出だ（一記者）

煙草値上說は虛僞

煙草檢査本年限り廢止

朝鮮專賣局の煙草が明年度から敷島二十錢、朝日十三錢と夫々値上げされるやの風說が一部に傳へられて居るが右に就き今村專賣局庶務課長は語る『專賣局としてはそんな事は夢にも見た事はなく斯かる噂が何處から出たのか全く根も葉もない事である、坊間帝都震災の影響を受け政府から總督府への補給金が大減額され苦肉の策として差當り贅澤品たる煙草を値上げして之を迎へさせるなどゝは甚だ器用な推測で當局としては實に恐縮する次第であるが煙草の定價は內地專賣局と共通して居り過日迄稅關で檢査する事すら無用の手數を要するので目下之を撤廢すべく大藏省と交涉中で本年十二月末日限り禁止の目算である、斯くの如き狀態であるから若し內地煙草が値上げされるならば當方でもそう云ふ事を繼續するやうになるだらうが今の所は內地の方から全然、そんな噂は聞かない隨つて朝鮮煙草の値上げ等については話題に上つた事もない』云々

鮮銀資金出入

鮮銀本支店に於ける八月中の貸出高は二億六千五百十九萬一千圓、回收高は二億七千六百九十三萬圓月末殘高は三億二千五百萬圓で之れを前年同期に比すると約一千萬圓の增加である、本支店の貸出及回收高は次ぎの通りである（單位千圓）

	貸出	回收
朝鮮各店	五七、五九六	五四、七五五
滿洲各店	七五、一七〇	八〇、六六六
支那本部	六、九八二	七、一八〇
西比利	四四	六三
內地各店	一三四、八六〇	一三三、三〇五

鮮商活氣付く

京城に於ける鮮商中には不況以來資金難の爲店舖を閉鎖する向きもあり概して取引不圓滑であつたが共進會開催以來地方人の來城著しく增加し是等の多くは各種の土產物を購入するので鮮人側の綢緞布其他實需品方面は相當の活況を呈してゐるが奢侈品の賣行は依然不振であると

京城生絲產額

京城に於ける蠶絲製品業は恩賜授產機業場外三ケ所總資本金百二十三萬三千餘圓であるが之れが最近一ケ年の生產高は四十三萬四千八百餘圓で逐年著しい增加を示してゐる、現在の生產品は生絲、屑絲、玉絲其他であるが生絲が其大部分を占めてゐる、

慶興郡廳位置變更

九日附府令を以て大正二年朝鮮總督府令第百十一號中咸鏡北道の部慶興郡の項位置の欄中『慶興』を『雄基』に改められ十五日から施行されると

公會私會

◇臨時局部長會議　總督府にては八日午後三時から臨時局部長會議開催、總督、總監以下在任局部長出席來年度豫算其他重要案件に付打合せをした。

◇副共係員慰勞宴　朝鮮副業共進會にては今回共進會開催に當り殆んど不眠不休の狀態にて各般の設備其他に携はり居る係員約三百名のために八日午後五時半より慶會樓に於て慰勞會を催した

ヨシアシ

普選は、內は人心の統一となり外は國力の發展となると後藤內相は所信を語つてゐる、普選はモウ所信の何のと言つてゐる時代では無い筈だが。◇

震災救恤に金一千圓を寄附した中村再造君はその後金一千圓を投じて獵犬を買つた、それが問題になつてゐるのも、理もない問題だ。◇

一時危篤を傳へられた大森地震博士は五日以來元氣が回復とは寔に喜ぶべきことだ、再發の無きことを祈る。◇

古賀廉造君は懲役一年半執行猶豫の判決を受けたので、どうやら勅選議員は除名處分となりさうだ、阿片の中毒は斯の如くおそろし、◇

京橋堂から大臣になつた野田卯太郎君が持て囃されてゐたら、支那ではこれと木樵出の曹錕君が大總統になつた

總督府醫院特定御用
御見舞に牛乳券が好適
牛乳
平山牧場
京城東小門外　電話光化門壹三三番

大震災紀念帖　販賣元　京城日報販賣部　東京麴町區內幸町一ノ五　毎日通信社

共進會開期中特價提供
靴
京城本町一丁目（郵便局前）　合資會社　北村靴店　電話本局一四七番

平壤醫院
ミカド前　電話四二一番

西洋酒雜貨煙草食料品直輸入商
仁川支那町
義生盛號
電話八一八番
階上　廣東料理部

价川輕便鐵道

朝鮮平安南道价川郡見龍里

大正十二年七月一日改正

下り

驛名	列車番號 二一	一	三	五	七
新安州發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安州着	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安州發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
北松里發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
龍興里發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
寶興里發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
价川着	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
价川發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
栗隅里發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
泉洞着	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

上り

驛名	列車番號 二	四	六	八
泉洞發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
栗隅里發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
价川着	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
价川發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
寶興里發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
龍興里發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
北松里發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安州着	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安州發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新安州着	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

公告

破產者　川村習次郎
右ノ者ニ對スル大正八年（破）第三號破產事件ニ付破產管財人ヨリ破產財團ノ計算ヲ爲サシムル爲メ大正十二年十月二十日午前十時當院ニ債權者集會ヲ招集ス
大正十二年十月八日
京城地方法院
第一民事部

法人登記公告

江原道金融組合聯合會變更　監事[illegible]大正拾貳年九月貳拾[illegible]日辭任シタルニ付抹消ス
大正拾貳年拾月四日登記
京城地方法院春川支廳

商業登記公告

株式會社三商會變更（支店）取締役[illegible]大正拾貳年九月貳拾日辭任ス[illegible]
大正拾貳年拾月四日登記
京城地方法院裡里出張所

登記公告

[illegible]
平壤地方法院

朝鮮小學新聞
第三號が出ました
面白く爲になる
◆皆さんの成績をよくする三四五六年の復習材料が滿載
◆中等各學校入學の方の爲め試驗準備がのつてゐます
◆毎號興味ある中等學校紙上入學試驗がありますから腕だめしになります、合格者は紙上で氏名を發表します
發行所　京城日の出町二三　朝鮮小學新聞社

魚釣具
投網
各種猟用
カスミ網
京城永樂町二丁目
チエロ化粧料卸商
卸小賣共御申越次第定價表進呈
吉備商會
電話本局[illegible]　振替京城[illegible]

測量諸機械

京城本町一丁目
篠崎商店
電話本局[illegible]　振替口座京城[illegible]
在庫豐富

林木大王
落葉松苗木
御照會次第栽培手引書を添へて定價表拜送
住所　長野縣南佐久郡川上村
德樹園　井出喜重

東海生命相互保險會社
共同火災保險會社
フンウヂウニド火災保險會社
代理店
綿絲布及雜貨貿易商
仁川本町四丁目
河野本店

驚クベキ特効藥
酸素丸
獨逸醫學界ノ大家ローランド氏ノ說ニ依レバ吾人ノ疾病ヤ老人性變化ノ原因ハ血質ノ變性カ又ハ酸素ノ不充分カ乃至ハ血質ニ有害作用ノ物質ノ融レテ變化ヲ來スニ因ルモノナリト斷定サレテアリマス
此ノ血質ノ障害アレバ即チ左ノ病症ヲ現出スルノデアリマス
腎臟病、肝臟病、膵臟、甲狀腺、脾臟、松果腺等ニシテ
病、血の道、月經不調、糖尿病、卵巢の病、睾丸の病、慢性痳病、慢性消渇、尿道狹窄、月經時の疼痛、下腹部の硬塊、常習的頭痛常習的肩の凝り、眩暈又は便秘、產後の諸病、貧血衰弱、腰痛、淫萎、不姙症、胃又は腸の病、バセードー氏病
[illegible]
酸素丸本舖　南滿洲本溪湖　中西亮

作業服
堅牢
廉價
優美
店員モ職工モ農夫モ働クニハ此服ニ限リマス
カタログ進呈
京城南大門通
ユニオン商會
電話本局二五六二番
振替京城八六三九番

……平原郡……面……里……醫……金貸……殿長男光錄の妻……(二二)は九月二十五日午前九時自宅で昇汞を嚥下して自殺を遂げた、原因は夫光錄は目下京城セブランス醫學校に在學中のものであるが本年六月休……夫が上級……になるので其……假の……を知らん爲めに……學……費を……したのが……なくも學校……部の手に入り光錄が……くその……目を……したことを苦に病んで遂に自殺したものだと（平壤）

個人金利昂騰

……が無……調は……の結果中途挫折するもの增加する模樣で個人金利は益々昂騰を示し日歩百圓に付十四五錢より二十錢……を唱へられて

副共會場内で

……高陽郡……江……里三九番地……部……(二)は八日午後零時四十……

醉漢檢束さる

……町二の一四九番地人力車夫安永植(三)……の六五……された

景福宮の中に咲く花
美人揃ひの女給女看手
丹碧の彩色美しい浮城を背景に
池畔に囁く紫皮布の女

景福宮の……共進會では全鮮の副業生産品の總てを蒐むると同時に共進會で百五十餘名協贊會で十餘名此他地方各道で二三名宛、飲食店でも、東京すしでも、甘泉亭出張所でも選り拔て優秀な美人を配した、十五歳から廿七歳まで銀盤の宮の中に咲いた花…內鮮の美を集めた物語の花が北漢山麓に咲き出た興行街の東洋大サーカスに西洋美人があり露西亞娘があり、活動寫眞館に支那美人寒玉蘭娘がある時に全く世界美人の展覽會である第二參考館け工作實況が多く品評する程の尤物がなく本館には內鮮數十の優れた容姿の所有者がある館の中央にゐる凄い美人は左の頸筋に大きな刀傷があるこの傷の所有主は容姿が優れて端麗な丈け多くの郎黨の好奇癖を唆つてゐる、好意あるものはこの疑問の傷痕をルイレキの切開した跡だと解釋して聊り安心するし、一方では乾度深い謎のあるローマンスの蹟紹だと情緒纏綿と結び付けやうとする全部〻の皮布に身を包み歎々として事務を採つてゐる

場内の慶會樓には協贊會の接待所がある、此處に同じく十八の女接待女給がある、この十八の女給さん達はその初め協贊會で募集條件の中に、一美人であること、二接待作法を心得てゐること、の二つを自信して應募した自慢美人である、慶會樓を繞る清澄した池に白い水禽が浮び遊船俱樂部のボートが往き還りする彼方丹碧の色彩美くしい浮城の上欄干に身を凭せて囁き交はす紫皮布の女ほんとうに繪の樣な姿である之も自ら美人と名乘つて出る女である丈け眞實清澄した眸とふくよかな美くしい血色を備へたのも多いが仲には何う贔負目に見ても二の町とより踏めない安代物もないではない此處に勤める樣になつた動機と言へば共進會が副業共進會の故でもあるまいが『家に遊んでゐても仕方がないからせめて會期中だけでも働いて家計の補助をし、自分のお小遣にするんだね』つて言ふのが多い、若い娘、若い細君達の副業とでも言ふやうなものだ、お給金は一日一圓三十錢から二圓止まりで各館食堂やその他の飲食店街ではポチも出やうし共進會でも會が濟めば若干の賞與が出ると言ふから若い女の副業には蓋し適當なものであらう、況して之が何かの緣になつてお芽出度い話にならうものなら副業共進會は萬々歲だ

眞劍な觀覽人
係員の說明に耳を聳て
ノートに筆記する熱心さ

本館、第一第二兩參考館は何れも入代り立替り觀客を送り迎へしてゐるか何時見ても蟻の這ひ出る隙もない有樣である本館入口の藝術味豐な農夫の塑像は衆目を惹てゐる朝鮮產業の洋々たる前途を表徴した技巧は流石淺川氏が雕生の力作たるをうなづかしめ周圍には何時も人垣を築いて見惚れてゐる、其下の貯水には眞鯉緋鯉が遊泳して需飾應用で美觀を呈してゐる、一般に觀衆は非常に熱心で一物も洩さず仔細に觀覽し說明する智識と理解を腦裡に印象しである樣である、左腕に赤い布を卷いた係員に說明を求め熱心に耳を傾ける者もあり或は見たまゝ感じたまゝをノートに書しるして行く人もあり絲命に眞劍に觀覽してゐる刺繡の精巧な技巧は殆ど驚伯の眞鑑かと疑るゝまでに眞に迫り、バテンレース實演場前には婦人の人垣を築いて仲々立去りさうにもない、手內職としては相應ほしいものであらう

大賑ひの興行街
鐘太皷や洋樂の交響で
八日の午後も活況を呈す

八日午前中は朝來薄曇の故もあつたであらうが前日から見るとずつと淋しかつたが午後から地方學生や普通學校生等が入場し相當活況を帶びて來た、第二參考館工作實況は見てゐる目の前で製菓狀況や製絲狀況さては全南竹細工など面白いやうに出來て行くので客足を留めて非常な雜沓を呈した、本館から出る人の入場者があり殊に此處の人口の美しい果實、蔬菜類は地方觀覽者の目を引いた樣である、喫茶館や營館も相當な賑はひを見せた、飲食店街や興行街もきのふに變らぬ雜沓で鐘太皷、洋樂の響は一層の賑ひをなして客の心を唆り入れ交り立ち代り大賑はひを見せた協贊會ではこの日慶會樓で鮮人劇家の書畫展覽會を開いたので慶會樓も大賑はひ協贊會競技場の賑ひに相當の賑ひを見せてゐる

場內の出來事
印刷にして配布

共進會事務所では毎日會場內の主要な出來事を半紙型の紙に會報として謄寫版で印刷し場內各館に配付し又一般入場者にも配付周知させてゐる

家族づれ午餐に
誂ひ向きの本社無料休憩所

場內に設置した本社無料休憩所は開館以來始終お客さんの絕え間がなく三人の女給はお茶汲みに沒頭してゐる、御家族連れで午餐でも召し食がるには丁度好い處です、場所は京畿道の副業奬勵塔の横、畜產食堂の隣りです、參觀者の御利用を願ひます

書畫展覽會

協贊會では入場者の興を添へる爲め毎日共進會場內慶會樓の一部に鮮內著名の書畫家二十數氏を招待し席上揮毫會を催し又作品を陳列し、希望者には即賣してゐる

詩文大會延期
けふ午後一時に締切る

八日共進會の呼物の一つであつた詩文大會は全鮮各地の詩人墨客が集まり詩を吟じ句を練り盛況を呈したが協贊會事務所では締め切を延期し九日午後二時まで句稿を受付け直に審査に着手し午後五時成績發表、十二日より十五日まで慶會樓殿廻廊に於いて詩文展覽會を開催すると

三十男の迷子

府內安國洞一九八番地寶泉旅館止宿中の金完玉(三七)は八日午前十時頃共進會見物に出掛けて迷ひ子となり次に鍾路四の一五九番地趙敬玉方李敬來三男李龍浩(二)は同午後二時頃家出して行方不明につき夫々所轄署へ共搜査方を願出た

佐世保元山間
海軍長距離飛行
本月下旬頃決行の豫定

佐世保海軍航空隊では兼て佐世保元山間の長距離大飛行を計畫してゐたが、愈々本月下旬決行する事に決定し、途中著水場及元山著水場視察のため同隊司令福田海軍大佐と藤瀨少佐は六日來元、石原府尹、隅上署長の案內で松汀里海岸及び永興灣防備隊附近を具に視察した、兩氏は何れ一兩日中に歸隊の上早速飛行準備に着手するも日時は未定なるも本月下旬中には飛來する雄姿を仰ぐを得べく途中著水場は釜山に決定したやうである、從來陸軍飛行機は數次飛來して居るが海軍飛行は今回が初めてで一般に珍しがり其日を待ち兼ねて居る（元山）

釣魚中に頓死
一見紳士風の男

去る五日朝九時頃仁川驛前花園遊船取扱店から釣船一隻を借り仁川沖へ釣に行つた男が頓死したが同船者とも分らぬので遺骸は仁川府廳に引き渡した死人は中柄で口髭あり推定三十七八歲位でセルの單物に同じ羽織を著し一見賤しからぬ人品で京城平田百貨店のマークの入つた樹下駄を履き所持品は高尙な紺袋入約半及現金七圓入り蟇口を有し……の內側に佐々木とある心當りの者は速かに仁川署に屆出て貰ひたいと（仁川）

甦つた市中の景氣（南大門通り所見）

甘粕大尉はどうして大杉等を殺害したか
『主義者は悉く始末する積りだつた』一絲亂れぬ理路整然たる答辯
地震中に開かれた公判

甘粕の公判は十時からといふのに午前六時頃には動きのとれぬ程傍聽者が詰掛けたが傍聽券所持の二百名の外は警戒の嚴しい歩哨に追拂はれて仕舞つた、廷內には新聞記者が前面三列を領した後方には憲兵、警官の私服の外大井大將、石光第一師團長、鈴木檢事總長等が詰め掛けた外社會主義者等は一向姿を見せなかつた軈て午前九時十五分被告甘粕大尉、森曹長は判事席後方の扉を開けて現れた、二人が被告席に着くや訊問は開始され甘粕先づ氏名族稱生年月日など訂正しながらはつきり然も悠々として答へ判士長から『軍隊は……』と言はれて『東京憲兵隊です』と答へる場內漸く緊張して來た時ゆら〳〵と地震が來たので大騷ぎをやつた鎭まるを待つて山田檢察官より控訴事實を述べ續いて事實調べに移つた甘粕は豫審調書にあるところと同じ樣に社會主義が我國の國是に合はざる所以を述べ『今回の不祥事件に連れてまた斯る主義者が何事かを謀むに相違なく此の際何とかせねばならぬと思ひました尙朝鮮人を煽動して居るとの風說もあり私も斯かることは有り得るものと想像しましたから大杉のみならず全部の社會主義者を仕末せねばならぬと考へたのであります

【問】大杉の居所を探した目的は？

【答】大杉を殺す爲めでありました

【問】森曹長を淀橋署に遣つたのは？

【答】淀橋警察署で憲兵隊の手で大杉を仕末して貰ひたいと言ふ意嚮であると聞いたから確める爲めです

【問】仕末と言ふのは如何なる意味か

【答】殺すことであります

と臆びもせず陳述し次いで大杉殺害について何か申立たいことはないかと問はれ『此際斯る巨頭を永久に社會から葬るほかはないと考へました、森には大杉殺害の事は話しましたが上等兵には話しませんでした』

【問】淀橋署へ行つて大杉の住所を聞いた時何故官姓名を名乘らなかつたか

【答】憲兵大尉として大杉を訪ねることは誠に小さいことであると考へたからであります

【問】伊藤野枝と子供を殺したのはなぜか

【答】野枝は社會主義者でありました、大杉の處分を知らせたくなかつたからであります

【問】子供を殺したのは如何なる理由か

【答】別に考へはありません

【問】大杉を殺してから如何なる覺悟があつたか

【答】勿論何時かは發覺すると考へました併し未だ大杉を殺したのみでは滿足致しません、今後未だ社會國家を害する者があるならば全部やつてしまいたいと考へて居ました、例へば福田狂二等も注意を拂ふ可き者だと考へました、私は那邊所に潛入りまして遺憾に考へましたのは未だく社會の爲めに盡したかつたことであります』と一絲亂れず理路整然と答へ心中既に決する處があるものゝ如くであつた、是れにて午前十時四十分一先づ休憩

『恐るべき主義者と思つて野枝も殺した』

甘粕大尉事件の公判は午前十一時二十六分開廷前例の如く住所氏名位階勳等の有無を訊問したる後裁判長は甘粕に向ひ

【問】野枝が如何なる行動を爲したと思ふか

【答】野枝が爆彈を持つて大杉と行動を共にしたと聞きました

【問】野枝を殺害する決心は何時であるか

【答】最初は野枝を殺す積りではありませんでしたが大杉と一緒に來たから好都合と考へました

【問】野枝を殺すに至つた理由はなんであるか

【答】大杉を殺す時迄はあんな女位をと考へてゐましたが同人も主義者であり外國の例を見ても女の主義者なら恐るべきものだと思ふてゐましたが私は大杉を殺してから野枝と種々の問答をして此の女も殺害せねばならぬと思ひました

それより大杉殺害の點に入り

【答】私は大杉を二階の應接室に連れて行く樣に森曹長に命じました、それから森曹長が大杉を調べて居りました時に私は大杉の後から右の手を同人の首にかけ後に引倒して首を絞めました

と當時の身振を實演し法務官から

【問】麻繩で絞めたのではないか

【答】死んでから麻繩で絞めましたがそれは息を吹返すことを慮つたのであります

【問】大杉を殺すときに森はどうしてゐたか

【答】森は默然してゐましたが三名を密室に伴つたのは森曹長であります私は後から菓子を持つて行つてやりました

と答へ正午休憩した午後一時十分三度開廷朝に引續き取調べに入る。

【問】野枝と如何なる話をしたか

【答】軍人などは君達から見たら馬鹿のやうに見へるだらうと云ふつたら野枝は今度のやうな時は致し方がないと申しました、それから戒嚴令の事や今度のことを雜誌に書くだらうと申しますと笑ひながら何か答へました併し其時の態度が如何にも人を馬鹿にしたやうで世間を混亂に陷いらしむるだらうと察せられる節もありましたから野枝を殺す決心を致しました。

續いて森曹長の訊問に入る

燒跡見物に上京して殺された宗一（七つ）

大杉榮夫妻と運命を共にした子供は大杉の實妹アヤメ(三一)と其夫立花延三郎（目下米國オレゴン州で料理店經營）との間に生れた宗一(七つ)で宗一は神奈川縣鶴見なる榮氏の實弟大杉勇氏方に引取られてゐたが大杉夫妻が震災の見舞を述べ歸鄕しようとすると宗一が東京の燒跡を見に行きたいと云ひ出したので同伴したのであつたが終りなくも悲慘な運命に遭遇したのであると（東京電報）

秩序整然たる公判
塚崎辯護士談

甘粕大尉の辯護人塚崎直義辯護士は語る、之れ迄の數次法廷に出たが今回の樣な秩序整然とした法廷は知らない兎も角社會の耳目を引いた大問題だけに在來の法廷には見る事の出來ない緊張して居た（東京電報）

逃げた妻を
刺殺さんとした學生

安城郡大德面麻鵬里普通學校生徒洪貞奎(三)は大正八年五月禹氏と云ふ女と結婚したが本年四月偶々禹氏が其實父が死亡したのを奇貨として實家に逃げ歸つて仕舞つた九月十七日禹氏が同棲する意志がないのを確めた洪は憤慨の餘り同日午前八時頃同里の禹氏實家方の前に妻を呼び出して短刀で刺したが急所を外れた爲め殺害するに至らなかつたのである、で京城地方法院白判事の係りで不日公判開廷の筈である

朝鮮代表選手
として晴の巴里に出場する者は誰か
興味あるその豫選大會

朝鮮體育協會が主催してオリンピック大會を開催することは既報の如くであるが、これは大日本體育協會が明年七月巴里に於て開催さるべき第八回國際オリンピック大會參加に決して、その朝鮮豫選方を依賴して來たによるもので、種目は百米、二百米、四百米、八百米、千米、千五百米、五千米一萬米、二十六哩四分ノ一マラソン、一萬米競步（步形自由）ローハードル、ハイハードル、走幅跳、走高跳、棒高跳、ホップステップジャンプ、圓盤投、砲丸投、槍投、鐵槌投、五種競技、十種競技、なる事も既報の如くであるが、例へ我が朝鮮選手は日本を代表するに至らないとしても、朝鮮代表者が極東大會に於ける經驗は相當效果を齎すであらうと斯界一般に認めてゐる

百圓札を紙捻に
着物の縫目に隱してゐた
末恐しい泥棒の卵子

安東縣一番通り二ノ四小林庄治郎方小使原籍山東省萊州府掖縣生れ鄒敬棠(一)は去る四日午前十時主人不在中手提金庫の中より現金百二十圓を竊取し其儘逃亡中であつたが五日午後六時頃山手町鐵道踏切附近で何食はぬ顏して遊んで居る所を安東署の小林刑事に取押へられ嚴重詰問されても容易に實を吐かぬので衣服を脫がせて取調べた所百圓紙幣一枚十圓紙幣二枚何れも別々に紙捻として着物の裏の縫目に隱して居るのを發見し直に本署に連行したが十五の少年に似合ぬ大膽不敵の奴で其紙幣隱匿方の巧妙さには係官一同も呆れて居る（安東縣）

夫を毒殺した姦婦
死刑の宣告

平北龍川郡東興面羅竹洞韓姓女(二)が支那人魏新彩なる者と姦通の上共謀して夫金得化に巴豆と稱する毒藥を粟餅に混入して食せしめ即死させた殺人事件は新義州地方法院伊藤裁判長から死刑の宣告を受けた（新義州）

全鮮刑務所職員武道大會

京城刑務所主催の全鮮刑務所職員武道大會は七日午前十時より京城刑務所に開催され有吉政務總監、松寺法務局長、宮崎課長外來賓、全鮮刑務官約四百名の來觀あり新道柔道に分れて二百の選手熊虎の秘術を盡し加ふるに府內中學校各警察署の有志之れに參加し武道の意氣を大いに擧げて午後六時半漸く盛會裡に散會したが優勝者左の如し

▲柔道

一等　新義州　岡崎　茂
二等　西大門　太田　勝實
三等　西大門　朴　聖完

▲劍道

一等　釜山　相良　辰次
二等　京城　吉安　利英
三等　平壤　後藤松三郎
四等　海州　牧野　正吉
五等　大邱　小本　武一

九州傳染病研究所
血清　ワクチン　豫防液　診斷劑
自家ワクチン　諸種血淸反應　虫卵略痰檢査　衞生諸檢査
福岡市外千代町　電話一二六七番　振替福岡九二七〇番

副共寫眞の懸賞募集

本社は副業共進會の擧を賛し同會に一層の興を添へる爲め京城協贊會の賛同を得て左の規定に基き『共進會場を主題とした藝術寫眞』を懸賞募集する事になりました、アマチユアー諸君の奮起を切望いたします

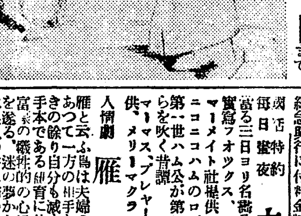
賞品

一等　一名　金牌一個、副賞
二等　二名　銀牌一個宛、副賞
三等　三名　銀牌一個宛、副賞
四等より十等まで銅牌一個宛

一、印畫　ベスト以上四ツ切り以下引伸し支へなし、印畫紙隨意
一、締切　十六日午後八時までに本社寫眞部へ提出す
一、審査　伊藤秋畝、武井天羊兩氏
一、發表　十七日共進會場內本社特設休憩所において發表
一、注意　印畫には暗號を附し別紙に其の暗號と住所氏名を明記し嚴封の上印畫と共に提出する事

主催　京城日報社

副共漫畫（一）
村農慢と緬羊　多田青士



村でも老農として盛名ある村農慢氏の共進會見物。會場に若い村の奴郞を伴れて說明もしてやらうと云ふ意氣込み。――までは良かつたが、會場を入ると直右側に緬羊が轉かり廻つてゐる、テ、メンヤウ（緬羊）などは思へども、若え奴等に何と敎へやうやら、と投首。爺共は此處で一人の老農を濟度した。

迷ひ兒
六年振に發見

府內鍾路洞六三番地支那人金鳳學の娘鳳得(三)は今から六年前迷ひ子となつた者であるが七日晚鳳得に酷似した娘が遊んで居るのを同二一番地に這入つたのを見て居合せた支那人に問合せた處東大門外に居住する山東省膠州灣完家在生れの支那人宋より二十五圓で買受けた者であるとて萬得を還して異れず揩つた揉んだの揚句西大門署へ訴へ出た

虹原社展覽會
連日非常の盛況

虹原社第一回展覽會は開催以來盛況を呈してゐるが、第一日に於て三戶、武石、中東、東與之輔氏等の作品を豫約し、入場者三百餘名を算したが第二日の八日は五百名の入場者あり伊藤秋畝、千野氏等の作品が豫約されて仲々の盛況である

朝鮮精米小火

八日午後四時頃府內義州通一丁目朝鮮精米株式會社の電氣モーターから漏電して板壁に燃え移り大事に至らんとしたが直に消し止めた損害輕微

本社見學

八日午後南道寧岩里公立普通學校生徒三十四名（引率者村田校長外職員）▲忠北道立師範學校敎諭金基新藏氏外生徒六十名▲忠南道公立……學校生徒十名（引率者李龍……氏外一名）

演藝案內

黃金館　松竹キネマ直營　毎日晝夜
◎實寫　共進會週年紀念興行
◎實寫　日本三景　全一卷
……咲く國、それは陸前の松島、丹後の天の橋立、安藝の宮島、風光明媚を世界に誇る日本三景
◎パルボア映畫　ジヤツキ、サンダース孃主演
正喜劇　父に叛いて　全五卷
◎ワーナーブラザース大作品
大活劇　死の渦卷　第二回
活躍連續　グレースダーモンド孃大力演
姉エヂスは神の生贄として虎の檻へ投げ込まれた、果して生？死？
蒲田撮影所參週年紀念特作映畫　大阪松竹座開館に上場白熱的好評を得たる母性愛悲劇
大悲劇　母　全十卷
生みの母美代　川田芳子、育ての母お絹　五月信子、義理の母靜江　栗島澄子、岩田祐吉、諸口十九、高尾光子、藤田房子助演△前後未曾有の總役出演……一人の子をめぐる三人の母……それは如何に悲しき運命を幼き者にもたらすか、世の母人よ！母となるべき若き人達よ！この主人公にも似た哀れなる女性が如何に多く現代社會にあるかを考へ是非見て戴き度いのであります、醜惡な社會に美しく育まれる三つの母性そは何を我々に敎へてゐるのでせうか、近代にない大敎育映畫
紀念興行に付料金特に値上せず

大正館　日活特約　毎日晝夜
當る三日ヨリ名畫公開
實寫フオックス、ニユース　長尺
マーメイト社提供
ニコニコハムのロビンソン　全二卷
第一世ハム公が第二世ハム公に大ほらを吹く昔譚
マーマス、プレヤース、ラスキー社提供、メリー・マクラレン孃主演
人情劇　雁　全七卷
雁と云ふ鳥は夫婦の間が濃かな鳥であつて一方の相手を失つた時には嘆き暮す餘り自分も滅す、これは人間の手本である組育に住む熙人フエンはダイアナを富貴の犧牲的の夢から醒めた迷ひの心に依て非業の最期を遂ぐる良人の許に歸つて以前に勝る幸福の樂園に住む事が出來た

松竹キネマ超特作品　勝見庸太郎、川田芳子主演
實說　國定忠次
時代映畫　雁の群
國定忠次は火事より怖いニツコリ笑へば人を斬る上州男の生るゝ國それは赤城颪の寒い上州の片田舍、忠次には何にも他に望みはなかつた農民を救ふ任俠心のみが數多血で洗はれた凄い物語にも子供を展乘させた後に淋しく並木街道に一人の馬子に噓これぞ忠次の落人姿

喜樂館　日活直營
十月三日より驚異的特別大興行
實寫　日向島、浮沈海戰　一卷
日活向島派超級作品　舞臺協會之新大映畫　山田隆彌、東堂三郞、六條浪子、石川眞澄主演
哀話　山峽　三つの魂　六卷
戯ら運命は入營前お光と懸仲であつた三吉は除隊になつた伍作はあつて光を總領にして居たが遂にそれは兄伍作の光の過ちから白痴にして了つた兄のお光を得たために財產を與へんと言ひ弟はそれを卑怯だと罵り其處にか……の魂さされて行く爭鬪をは遂に山峽に三つの魂を破滅させすといふ深刻極る哀戀の物語であります
米國パテー社大冐險大連續映畫　五回
三豪傑ハツチ　六篇
快漢滑チヤールスハツチスンの最も得意とせるオートバイが恋活躍して來た見よ本週の大猛撃大追撃を
▲東亞三郎、山田隆彌、石川眞澄、浪子主演他協會員總出演
▲日活京都派尾上松之助
家俠と傑　粂平內　六卷
皆さまよく御存じの物語で新規撮影のトテモ素張らしい映畫です

中央館　マキノ映畫　毎日晝夜
日曜日切太活劇週間
◎マキノキネマ新創劇の第一部作
第一巢に……く小鳥　全五卷
憐な一少女の周圍をめぐる運命に哀い運命……見る事の出來ぬ實に……
ユニバーサル特作大連編
大魔王　全十八編
第一海賊の花嫁　第二山嶺の巢　四卷
……

京龍座　龍山　電話三一二番
當る十月八日より開演
◎東京女流團　株家大一行
二番叟　八木節　淨瑠璃　成田名物　おけさ踊り　安來節　鴨緑江節　支那人　浪花節　落語　鍛太鼓　講釋　千本櫻　萬歳　すくみ　原盜……
入場料　一等六十錢　二等四十錢　三等三十錢　軍人半額
毎日必ず七時開演

紫頭巾　全八卷
マキノ省三氏總監督
大江戶恐怖の的たる紫頭巾の怪賊を命に代へて百ヶ日間に捕へんとする左平次への快刀亂麻的活躍は眞に目覺ましさ……妖刀村正の一閃不可思議の大奮鬪の正體はそも……是ぞ日本一の大奮鬪を
（普通料金〇毎日晝夜）

萩寺心中
九日封切公開　目覺しく進步せる松竹時代映畫　藤野秀雄入社第一回作品　勝見、川田、柳咲子共演

大正館　大活劇猛鬪皆殺し　五卷　人情劇戀と名譽と服從　六卷

るいれき
ルイレキにキラズに治す名法の良藥を助ける……の時に……明石市郡役所前　横山家本邸

てんかん
ヒキツケ他療法無効の人も迷はず直に當方へ申込あれヒミツに治す實任良藥急送す全快者頗る多し
▲和歌山市片岡町　藥劑士　宮吉榮作

ほねくさり
コツマク炎にて身體の何れをも……節々痛み、セキズイ病にて手足シビレ……
明石市郡役所前　長壽園

油斷大敵
恐るべき蛔虫を驅除する　珊瑚……セメン菓子
本舖　岩崎大海堂

そこひ目
大師堂藥局

魂の力 (第八十七回)

中川雨之助作　小寺柳村畫

私も藝妓に

塚谷の方では、使に行つた大番頭が歸つて來て兵馬の木で鼻を括つたやうな挨拶を報告すると、恭平は忽ち心持を悪くしてしまつた。

そればかりなら宜いが、織一郎には目下同棲をしてゐる女の外に、更に許嫁の女があるといふことが分ると、恭平は織一郎を見逃しの附かぬ男だと云つて、一も二も無く彼をば色魔にして了つた。

織一郎に、京子の外に愛妓といふ許嫁のあるといふことが、勝しく英子を失望させた。彼女は今一と息といふ所で、手の屆きかけてゐた物を、ずつと遠くの方へ持つて行つて了はれたやうな感じがした。而して直ぐに彼女の胸には何か織一郎の困るやうなことを仕向けて、そうした隙に乘じて、總の野心を遂げやうとする心が、忽ち焔のやうに勝して來た。

それには先づ、眞正直から、貸た金の催促を始めて、一たん織一郎を危地に突き陷て置いて、それから又ソロ／＼手を廻して、彼の心を懷柔せるやうな手段を廻らさなければならなかつた。

塚谷の方から、先づ村越家に對つて督促が發しられた。けれども兵馬は一も二もなくそれを跳附けて了つた。厳しい催促は、勢ひ織一郎の方に下らなければならなかつた。

織一郎も京子も、それは豫て覺悟の上であつた。覺悟はしてゐたが、併し金の用意の出來て居る譯ではなかつた。

織一郎は、一たん手に歸した工場の權利を何とかして他へ讓りたいと思つた。その事情を知つてゐる泉少年も、毎日のやうに彼方此方と奔走はしてみたが、打寄せて來た不景氣の波に捌れ返されて若い徴人の奔走位は爪も立たなかつた。

而した織一郎の苦心を凝乎と眺めてゐる京子は、とても我慢ができなくなつた。彼の方で助けられるものなら助けなければならないといふ焦慮と悶えとが、たうとう彼女の決心を促した。

或日の朝、京子は織一郎の外出するのを見送つて置いて、直に支度をして芳町の長谷本に姉の利加子を訪ねた。

『まあ大層早いぢやないの、千駄ケ谷あたりから出掛けて來て、今時分茲へ着くかと思ふには、よつぽど早く出掛けて來なきやならないだらう。妾なんか、いま漸と起きて顏を洗つたばかりなんだよ』

寝衣の袢纏を引つかけた利加子は、まだ寝足らなさゝうな眼元をショボ／＼させながら、それでも嬉しさうにして京子を迎えた。

『姉さん、妾今日はチト折入つて相談に乘つて頂きたいことがあつて伺つたのですよ』

さう云つて京子は俯向いてしまつた。妹の苦勞に惱むでゐるさうな容子を眺めて、利加子の心も暗くならずには居られなかつた。

『何う云ふことか知らないが、遠慮なしに言つて御覽、私で出來ることなら、相談に乘つて進げますわ』

二人は女將の注意で、奥の一と間へ通されて、氣兼ねなしに話しをすることができた。

『私も姉さんと一緒に、藝者にならうかと思ふのよ』

『ネッ』と云つた限り、利加子は呆氣に取られて、妹の顏を凝視るのみであつた。

『マア京子、お前は氣でも違つたんぢやないの。どんな事情が有るか知らないが、藝者にならうなんて、それは悪い料簡です。私は私の心得違いから、誤つて斯んな仲間へ落込んで了つたけれど、お前さんだけは、私の真似を爲せたくありません。藝者なんて商賣は、外から見るほど決して樂ではありません。折角久し振で二人が巡り會つて、やれ嬉しやと思ふと間もなく、いくら何だつて、お前を藝者にすることは出來ないぢやないか。悪いことを言はないから何卒そんなことは考へ直してお呉れ』

利加子は碌くり事情も聞かないで、頭から京子の話に乘つて遣らうとはしなかつた。

『だつて姉さん、私だつて藝妓や酌婦で斯んな心になつたのでは有りません。言ふに言へない苦しい事情があるのですからね』

『何んな事情か知らないが、それほどにお言なのは、よく／＼の事情があるんでせう。兎に角言つて御覽』と、利加子は一と膝乘り出した。

震災義金 (高陽郡取扱ひ)

▲二十圓 高陽郡崇仁面金性雅 ▲五圓宛 李乘瑛、崔順天、李鳳鉉、李秉昊、李泰煥、崔明良、李乘稷、李鐘成、金炯善、金永權、金正禧、李承榮、沈相玉 ▲三圓宛 金敎興、金行黙、金贊根、金敎允、金炯九、金始權、鄭瓘、金炯斗、金敎權、金世濟、金守權、金完權、李勉植、吳文漢、李桂夏、梁在星、金正煥、李秉直、李秉善、金敎晃、李慶一、李鍾明、金敎昌、李秉苗、李正浩、尹鶴熙、金奉煥、崔君三、崔相晉、李敎永、徐光玉、崔義彦、皮凡伊、崔成根、崔相喬、朴基俊、崔允成、崔相善、崔相奎、兪東順、崔允善、崔禮永、崔舜常、金榮坤、崔九容、崔龍禍、兪性焉、成耆萬、李今春、李乘玉、梁桂成、李範弘、李泰三、梁仟植、皮泰根、皮凡國、皮潤鎬、皮健鏞、李秉鐶、崔寅默、李炳華 ▲一圓宛 松浦面皮建源、梁柱根、皮熙達、李範學、李敬俊、李範善、劉吉釗、梁在允、皮致順、李範弌、林貴春、崔興榮、金澤、金股濟、崔舜容、崔致云、崔相貞、兪泰鎬、崔相敦、崔相磯、鄭占石、崔相龍、李世煥、李乘赫、金在賢、姜順根、李昭成、李天浩、尹濟完、金學順、金守榮、尹龍善、李乘克、金璋長、李鍾世、張世元、金順昌、李學俊、崔在煥、金永基、崔仁賢、金得權、金周權、崔大春、金南權、李順男、崔正根、李恩鍚、李甄順、崔聖卿、梁在佐、金德培、李鍾、崔相卿、朴文煥、金一煥、崔正鉉、朴性實、崔和順、申億緑、金濟利、金鼎根、金佐權、金尙麟、金炯俊、梁在根、睦昇均、河聖輔、金敎南、沈相俊、沈和然、李萬燁、盧山伊、沈春燮、權德春、沈相一、朴季陽、安用春、金敎近、沈相必、沈相玹、金興奎、沈相賢、沈相敏、沈性敏 ▲三十圓四十二錢 崇仁公立普通學校兒童一同 ▲二十二圓四十四錢 崇仁公立普通學校兒童一同 ▲二十二圓三十七錢 阿峴公立普通學校兒童一同 ▲三十六圓九十九錢 纛島公立普通學校兒童一同 ▲十八圓 知道面新坪里有志 ▲二十圓 知道面幸洲內里有志 ▲十圓 大池道面花井里有志 小計五百六十九圓八十七錢 累計三千九十八圓四十錢

木曜會の觀楓會 (安東)

安東木曜會では十日米川觀楓を兼ね鳳凰山の觀楓會を催したが午後三時歸途五龍背附近に於て五龍閣にて汗を流し晩餐會の後午後八時終列車にて歸安解散した(安東縣)

體操科研究會 (長湍郡教育會)

長湍郡教育會に於ては夏期休暇中道立師範學校教諭宮部正雄氏を招聘し體操科講習會を開催したが尙引續き該科講習の徹底を期する爲め本月七日全郡各普通學校より一名宛の教諭の講習を爲さしめ實地授業を行はしめ九化の實地指導、高浪浦の丹訓導、長湍の雀問訓導の實地授業何れも大なる進歩の跡を示し居たと

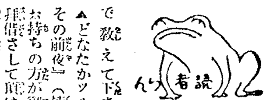
今日の句 (投稿歡迎)

兼題『女』 尾上柴舟選　雜詠『小春』 內藤鳴雪選　川柳『辯士』 井上劍花坊選
締切 十月廿五日(各題共)　賞金 天一圓半、地一圓、人半圓、一題一人三句、各題別紙に用紙葉書、雜詠社所氏名明記 京城日報社京日文苑係の事 其他 各地句會報歡迎

秋郊

京城大和町官舍　河田政一

風向きのいかにあるかは知らねども



▲鐵州は嶽田總督と言ひ今は再婚し市內で繼婦人會を組織して居る方を存じの御方へ其の住所氏名を本欄まで教えて下さい(罹災者松山)

▲どなたかツルゲーネフの戲曲「その前夜」(楠山正雄氏譯)をお持ちの方が御座いましたら是非拜借させて頂けませんでせうかお願ひ致します、府內の方でしたら此方からお伺ひ致します何卒御一報下さいまし(府內明治町一の五 由光永精一)

▲神近市子が七年前刺した新人大杉榮が今度はとう／＼維土で居られた直樂の反逆者であ○○○の反逆者である。其末路は斯うした者だ姿子と痴話喧嘩ばかりしてゐる近所の後家さん、ちつと目が覺めなくてはいけません(小井里岡撲女)

▲宅の娘は夜中にいやな音を立て、歯をならしますが何か根治の方法はございませんか又若白髮はどうしたら根治されるのですかお諭ね致します(心配女)

▲秋季皇靈祭の日家族連で往十里から自動車で鷺梁見物に行かれたお孃樣髮が亂れると電車の中で女中を防風の構にするのは人を無視も甚だしい以後少しは公衆をいたはる心を養はれては如何(注意する子)

▲訂正 本月七日附け朝刊本欄に山梨オルガン中古云々電話本局五九番(河上)とあるは九五一の誤り

水源地の櫻伸びずして層む穗の垂りの重くし見ゆる稻田沿いに上通けき水源地の櫻
秋風のまなくし吹くに芭原遡らはぬをばかなしみにけり
舞ひ狂ふ埃は己が喉のためわろしと思ふに息妹へ居り
扁桃腺いたむをおそれ埃舞ふしまし息せぬが悲しくもあるか
友に先づ勸めど水を欲りせねばひとりさびしく我が飲みにけり
道ゆく吾等にあらねば語りヂキタリス群るゝ園見て行くも

零餘子氏無難

『枯野』十月上旬發行

俳誌『枯野』の主宰者長谷川零餘子氏は四國方面の旅行を終へて歸ると間もなく過般の大震災に遭逢して消くなつた。幸ひ身邊には異状なく避難することを得たがお蔭で一ケ月は丸潰れとなつたと知らせて來た。どうかと思はれた俳誌『枯野』は同人の熱誠によつて十月號が本月十日頃發行できるらしい。恢復の一日も速かならんことを祈る(左)

新刊紹介

▲法藏(九月)二十錢京都市東六條中珠數屋町烏丸東入る法藏館▲兒童と宗教(九月)十五錢京都市烏丸通七條上る大谷派本願寺社會課

▲臺灣教育(九月)變異統計法略説(岡部文夫)新入兒童の知能檢査に就て(日新公學校)出席督勵法の私見(林茅添)其他(二十錢臺灣總督府內務局學務課內臺灣教育會)

▲滿蒙(十月)滿蒙觀(高柳保太郎)日支文學の交渉(細谷清)中國秘密結社史(小原梅吉)其他(五十錢大連市滿蒙文化協會)

▲活人(十月)稀有の震災火難と我が國民の覺悟(田所彭善)震災の民衆思想に及ぼす影響(田中香涯)震災に於ける貴重なる體驗(坂東道邦)其他(二十五錢大阪市東區唐物町一の五活人社)

▲朝鮮鑛業會々報(十月)三十錢京城南米倉町朝鮮鑛業會▲朝鮮經濟(十月)二十五錢京城黃金町三の七一朝鮮經濟通信社

京城旭町二丁目八番地　外科 皮膚科　瀬戸醫院　瀬戸潔　(電話本局二四九八番)

創立明治參拾貳年　倉庫業兼營　京城府南大門通一丁目十九番地　株式會社 朝鮮商業銀行　頭取 趙鎭泰　專務取締役 岩崎虎次郎　支店(京城南大門・同本町・同東大門・仁川・平壤・利川・群山・釜山・元山・淸津)

弊堂創立明治二十八年　各時計卸商　貴金屬製作卸所　京城黃金町二丁目　喜多金光堂　電話一〇一五番 振替京城七〇八貳番

府立 仁川病院　仁川山手町　電話 事務用一六番 病室一〇二四番

資本金參千萬圓　年賦又は定期償還方法に依る勸業資金貸出の外一般銀行業務を取扱申候　京城府南大門通二丁目　株式會社 朝鮮殖產銀行　頭取 有賀光豐　電話本局長六〇、六一番　營業振替貯金口座京城四〇九番　道金庫振替貯金口座特一〇三號
支店及派出所

內科 胃腸病科　診察夜九時迄　京城本町一丁目　石川醫院　電話(三一三九〇番 三五九〇番)

親切 藥 勉強　釜山辨天町　藤田藥鋪　電話長一八一番

各種銀器製作　壽 金屬美術品　白金 金地金　德力　京城明治町一丁目　電話一五七二番　振替京城二三四

大田案內
大田春日町一丁目　銘酒朝の花　ますや酒店　長電話二六七番
忠南名物　リンゴカステラ　朝鮮大田 宇田堂　電話一七九番
大田春日町一丁目　相浦式ビタミンパン　製造元 京愛商會　長電話二一六番
純白寒水石　大田春日町二丁目　大田石灰製造所　石灰 生石灰　振替京城八二八六番
大田春日町一丁目　土木建築請負業　須々木權次郎　電話一二六番
珍菓 鶴の子　忠南名產
大田本町一丁目　一般診療に應ず　院主 和智醫院　醫學士 和智靜雄　長電話二二番
大田本町一丁目　西原自轉車店　長電話三五四番
大田春日町一丁目　小橋自轉車店　長電話二五番
一般診療に應ず　大田鐵道病院　電話(局內外科十四番 公衆長四十九番)
大田電氣株式會社　長電話一四二番 三三七番
京釜線大田春日町一　歐米舶來 諸雜貨 季節物 全部品揃　丸友洋品店　電話一四九番

朝鮮總督府 官製 精蔘　一手販賣元 貴生堂藥品店　京城本町二丁目

京城府積町一丁目(電話本局六九二番病院用)(同四三六九番院長用)　內科 小兒科　小林病院　院長 醫學士 小林千壽　入院設備(普通病室)(隔離室)

京城府永樂町一丁目(商品陳列館前)　內科 小兒科　村上病院　院長 醫學士 村上龍藏　電話自宅三五六 病院六一三番

資本金六百萬圓　明治三十八年設立　當銀行ハ預金貸金爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候　京城府南大門通一丁目十四番地　株式會社 漢城銀行　頭取 韓相龍　電話長光化門八一番　振替口座京城二一〇五番
支店所在地 水原・平壤・大田・開城・京城南大門・釜山 東京・大阪・京城東大門・大邱
出張所在地 東萊・平壤大和町・京城西大門・京城本町

外科・內科 皮膚花柳病科 エッキス光線及電氣科 (普通及隔離室)　京城府旭町一丁目四　島崎病院　院長 島崎龍一　電話 病院本局二七三六番 院長本局三六九三番

大いに威張つて御愛用下さい　內地酒に變らぬ處に銘酒朝の花の特色が現はれてゐます

釀造元 朝鮮論山 朝鮮酒造株式會社　京城黃金町三丁目 京城出張所 電本局二一九七番　販賣店……各地信用ある店に在り

內科 小兒科　京城若草町大通り　今村醫院　院長 今村豐　入院隨意　電話一八三一番

一、診療科目 皮膚科、耳鼻咽喉科
一、診療時間 自午前八時 至午後九時
但每週水曜及土曜ニ限リ貧困證明ヲ有スル者ノ無料診察ヲ行ヒマス
京城府鍾路一丁目四十九番地　順天堂醫院　長電話光化門壹貳貳　醫師 尹喜植

勿驚(おどろくなかれ)　タッタ五分間に忽ち頭痛を治し腦を爽快にす、只一回の頓服にて夢の醒たる如し

清腦新劑 チエヤー

(本劑適應症)
▲偏頭痛 ▲腦病性頭痛 ▲貧血頭痛 ▲逆上頭痛 ▲神經性頭痛 ▲ヒステリー性頭痛 ▲感冒性頭痛 ▲胃性頭痛 ▲酩酊後の頭痛 ▲子宮病性頭痛

本劑は
▲腦病者▲神經衰弱者▲ヒステリー病者▲子宮病者▲常習便秘家等は日常懷中用意せらるべし
▲汽車汽船に乘る時▲人込の場所▲演藝の觀覧に臨む時は必ず本劑を用意携帶せらるべし

本舗 大連市伊勢町 藥種貿易商 合資會社 松內楠陽堂
特約店 京城本町 木村藥店
到る處の藥舗にあり